

2024年12月20日

各位

## インド共和国でのCO<sub>2</sub>排出量削減技術実用化を目指した 小型CCU-Sの実証事業が経済産業省の補助金対象事業に採択

当社（社長 納武士）は、インド共和国にて行う小型のCarbon Capture & Utilization System (CCU-S) の実証事業が、経済産業省の令和5年度補正「グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（我が国企業によるインフラ海外展開促進調査：二次公募）」に採択されましたのでお知らせいたします。

当社はパーパスである「探索精神と多様な技術の融合で、地球を笑顔にする。」を基軸に、社外の力（お客様、パートナー企業、大学等）と当社の強み（コア技術・ノウハウ・販売チャネル）を融合することで、持続可能な社会の実現に貢献する新規事業の創出に取り組んでおります。

インド共和国は、グリーン水素のグローバルハブ国への転換を国策としており、2023年1月に国家グリーン水素ミッションを発表しています。当社は2023年12月に、インド工科大学デリー校とグリーン水素製造を目的とした水電解電極の共同開発を実施すること、および同校内に研究開発・マーケティング拠点を設立したことを発表し、インド共和国においてグリーン水素分野での研究開発を推進しております。また、当社はCO<sub>2</sub>を輸送や貯蔵しやすい液体物質に変換して活用することを志向し、グリーン水素を利用したグリーンメタノールの高効率製造技術を開発しております。当社独自のCO<sub>2</sub>変換触媒と、それを利用した高効率反応器を社内外の力を融合して開発しており、世界最高レベルのCO<sub>2</sub>転化率を目指しています。

本実証事業において、当社の事業創造本部は、インド共和国における子会社であるMitsui Kinzoku Components India Private Limitedの触媒工場内に小型のCCU-Sを設置し、インドの工場排ガスまたはインドの大気からCO<sub>2</sub>を回収し、それを水素と反応させることでメタノールに変換する実証事業を行います。本小型CCU-Sには事業創造本部が開発したCO<sub>2</sub>の回収材料およびCO<sub>2</sub>の変換反応器を搭載し

ます。本実証により、当社の材料技術を利用することで、安価なグリーン水素が得られると期待されているインド共和国にてCO<sub>2</sub>の回収および輸送や貯蔵に有利な液体物質への変換を目指します。

当社は、インド工科大学デリー校との共同開発および本CCU-Sの実証事業を通じ、当社の保有する様々な材料技術等を応用することで、国際的な脱炭素社会の実現に向けた技術開発を推進してまいります。

以 上

#### 【インドにおける小型 CCU 実証事業の概要】

|            |  |
|------------|--|
| 1. 事業名称    | インドにおける小型 CCU 実証事業   |
| 2. 目的      | 当社の材料を用いた CCU-S のインドの環境下での実証                                 |
| 3. 対象補助金名称 | 令和 5 年度補正「グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（我が国企業によるインフラ海外展開促進調査：二次公募）」 |
| 4. 設置場所    | Mitsui Kinzoku Components India Private Limited Bawal 工場内    |
| 5. 期間      | 2025 年 2 月～2025 年 12 月                                       |

#### 【お問い合わせ先】

三井金属 経営企画本部 コーポレートコミュニケーション部

TEL 03-5437-8028 E-mail [PR@mitsui-kinzoku.com](mailto:PR@mitsui-kinzoku.com)